## 財産目録

2025年 3月31日現在

(単位:円)

	貸借	対照表科目	場所・物量等	使用目的等	(単位:円     金   額
	· ·				
□ 日本行政 (日本) 日本 (日本)		現金	手元保管	運転資金として	37,1
		預金	普通預金	普通預金合計	38,126,8
#日本年7世紀大学   本文全元   1982年   1			三井住友銀行東京公務部	運転資金として	472,5
およって			三井住友信託銀行本店営業部	運転資金として	15,9
公式町産産会社			東日本銀行飯田橋支店	運転資金として	129,3
おきない			みずほ銀行飯田橋支店	運転資金として	2,129,6
Purpowelf 不足は高度が 製物販金   2月中央に関係を対すます。			三菱UFJ銀行神保町支店	運転資金として	34,914,0
送別等金   送別等金   送別等金   送別等金   送別等金   送別等金   送別等金   送別等金   送別等金   対議会   対議を   対議の   対域の			りそな銀行九段支店	運転資金として	129,4
1			PayPay銀行本店営業部	運転資金として	335,7
中電品			定期預金	定期預金合計	20,000,0
			三井住友信託銀行本店営業部	公益目的事業共用の財源として使用している。	10,000,0
# 総名全			PayPay銀行本店営業部	公益目的事業共用の財源として使用している。	10,000,0
		貯蔵品	郵便切手・レターパック・来客用水	管理目的の資産	40,8
表の他   表の他   表の他   表の他   表の   表の   表の		前払金		前払金合計	1,527,2
			㈱曻宏堂など	その他1.教育事業に関わる資格試験練習問題集の印刷費である。	1,360,1
			その他	相互扶助等事業、管理目的の業務に関わる前払金7件である。	167,0
接触性を含さ (定業者) (定業者) (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定官金 (の他の定)金 (の他の定)金 (の他の定)金 (の他の定)金 (の他の定)金 (の他の定)金 (の他の定)金 (の他の定)金 (の他の定)名 (の他の定)の定)名 (の他の定)の定)の定 (の他の定)の定)の定 (の他の定)の定 (の他の定)の定 (の他の定)の定 (の他の定)の定 (の他の定)の定 (の他の定)の定 (の他の定)の定 (の他の定)の定 (の他の定)の定 (の他の定)の定 (の他の定)の定 (の性		未収金			369,4
接近地域を付当当業権		l			60,101,5
(株) マクロミル (株) マクロロッ (株) マクロミル (株) マグロミル (株)	定資産)				<u> </u>
(中器協品会社	· ·	職員退職給付引当資産	三菱UFJ銀行神保町支店	職員4名に対する退職金の支払いに備えたものである。	6,000,4
ハッコン名介、プロジェクター1行   公益が入金計会計システスソフト   日本が入金計会計システスソフト   日本が入金計会計システスソフト   日本が入金計会計システスソフト   日本が入金計会計を行う   日本が入金計   日本が入金計会計を行う   日本が入金計   日本が入金計会計を行う   日本が入金計会計を入金が付けた助等事業、管理目的の業務に従事した環境なが介えららい   日本が入金計的事業なが相互状助等事業、管理目的の業務に従事した環境なが介えらい   日本の大金計的事業なが相互状助等事業、管理目的の業務に従事した中である。   日本の大会計の事業なが相互状助等事業、管理目的の業務に使用した小口費用17件である。   日本の大会計の事業なが相互状助等事業、管理目的の業務に使用した小口費用17件である。   日本の大会計の事業なが相互状助等事業、管理目的の業務に使用する対す事業を行り合う。   日本の大会計会計を表していまいのでは、対合事業を使用した小口費用17件である。   日本の大会計会計を表しまいのでは、対合事業を使用したいいで費用の収益に係わる消費を行っる。   日本の大会計会計を表しまいのでは、対合事業とが相互状助等事業、管理目的の収益に係わる消費を行る   日本の大会計を行いると   日本の大会主を行いたが、日本の大会・日本の大会	D他固定資産	什器備品		什器備品合計 	452,2
公益法人会計会計システムソフト   管理業務に使用するソフトである。		.,	パソコン3台、プロジェクター1台		336,3
電話加入権					115,8
数金   所有者:京+電途線、種リビタ   方も公益目的保有財産60% うち祖正大助等事業財産20% うち強用的財産20% うち強用的財産20% うち強用的財産20% うち被用的財産20% うち被用的財産20% うち被用的財産20% うち被用的財産20% うち被用的財産20% うち被用的財産20% うち被用の財産20% うち被用の財産20% うち被用が関連20% うち被用が関連20% うち被用が関連20% うち被用が関連20% うち被用が関連20% うち被用が関連20% うち被用が関連20% 本法金合計 (株) マクロミル 公2・調査事業の2025等調査の実査・分析刊である。		雷話加入権			505,9
放金   所有者:京工電鉄線、銀リビタ   5 も相互状助等事業時全20%   5 も管理目的財産20%   放金合計   5 も登理目的財産20%   放金合計   5 も超点状助等事業的深20%   5 も超れ状助等事業的深20%   5 も超れ状助等事業的深20%   5 も超れ状助等事業の第一   7			00 0200 0001[22[4]		303,5
数金   所有者:京正電鉄線、織リビタ   5 も登録目的財産20%   2 も登録目的財産20%   5 も登録目的財産20%   5 も登録目的財産20%   5 も登録目的財産20%   5 も登録目的財産20%   7 を整合計   7 を要合計   7 を要合   7 を要合計   7 を要合					101,1
数金   所有者:京土電鉄機、㈱9ビタ   うち公益目的保有財産60%   うち相互扶助等事業別産20%   うち相互扶助等事業別産20%   うち相互扶助等事業別産20%					101,1
お出産技能会計   1 日本社会		動々			5,000,0
おも相互状的等事業財産20%   うち相互状的等事業財産20%   うち管理目的財産20%   大払金			が行行・京工电妖(物、(物)グログ		3,000,0
対象では   対象の					
対象負債					1,000,0
養産合計	1字次去人斗			プラ官連日的財産20%	1,000,0
(統動負債)    本払金					11,958,6 72,060,1
未払金			1		72,000,1
(株) マクロミル		<b>土北</b>		土北 今今計	5,217,8
原生労働省職業安定局		<b>不</b> 加並	(掛) 一方口之以		
T代田年金事務所 公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に従事した職員名の2025年3月分の 社会保険料である。 公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に従事した職員及び公1・適正化事業に従事したアルバイトの2024年度の確定保険料及び2025年度の概算保険料である。 その他 公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に使用した小口費用17件である。前受会費合計正会員9社 公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に使用する翌事業年度の正会員の会費である。 費助会員1社 公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に使用する翌事業年度の責助会員の会費である。 前受全 正会員5社 相互扶助事事業、管理目的の業務に使用する翌事業年度の責助会員の会費である。 私消費税等 麹町税務署 公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の収益に係わる消費税である。 私り金 額泉所得税 役・職員及びアルバイトの給与より控除した額泉所得税である。 (在) 報員の給与より控除した程税である。 所得税割金 (有識者などへ支払った割金から控除した額泉所得税である。 (商定負債) 職員退職給付引当金 一菱UFJ銀行神保町支店 職員4名に対する退職金の支払いに備えたものである。			()		1,388,2 1,568,6
社会保険料である。					1,500,0
が働き準監督署 公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に従事した職員及び公1・適正化事業に従事したアルバイトの2024年度の確定保険料及び2025年度の概算保険料である。 との他 公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に使用した小口費用17件である。 前受会費合計 正会員9社 公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に使用する翌事業年度の正会員の会費である。			十八田午金事務所 		900,0
業に従事したアルバイトの2024年度の確定保険料及び2025年度の概算保険料である。			<b>兴岳甘淮</b> 野叔翌		462,0
その他 公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に使用した小口費用17件である。			为		402,0
前受会費  正会員9社  正会員9社  公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に使用する翌事業年度の正会員の会費である。  鼓助会員1社  公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に使用する翌事業年度の賛助会員の会費である。  正会員5社 相互扶助事業その他1・教育事業に関わるハンドブックの販売収入である。 未払消費税等 麹町税務署  公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の収益に係わる消費税である。  預り金 源泉所得税 住民税 所得税割金  流動負債合計  (固定負債)  職員退職給付引当金  三菱UFJ銀行神保町支店  職員4名に対する退職金の支払いに備えたものである。					
正会員9社 公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に使用する翌事業年度の正会員の会費である。			その他	公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に使用した小口費用17件である。	1,232,0
費である。		前受会費		前受会費合計	3,260,0
賛助会員1社 公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に使用する翌事業年度の賛助会員の会費である。   前受金   近会員5社   相互扶助事業その他1・教育事業に関わるハンドブックの販売収入である。			正会員9社	公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に使用する翌事業年度の正会員の会	3,200,0
会費である。				費である。	
前受金 正会員5社 相互扶助事業その他1・教育事業に関わるハンドブックの販売収入である。 未払消費税等 麹町税務署 公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の収益に係わる消費税である。 預り金合計 渡泉所得税 住民税 職員の給与より控除した源泉所得税である。 前得税謝金 有識者などへ支払った謝金から控除した源泉所得税である。 「応動負債合計 し 職員退職給付引当金 三菱UFJ銀行神保町支店 職員4名に対する退職金の支払いに備えたものである。			賛助会員1社	公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の業務に使用する翌事業年度の賛助会員の	60,0
前受金   正会員5社   相互扶助事業その他1・教育事業に関わるハンドブックの販売収入である。				会費である。	
預り金 源泉所得税 住民税 所得税謝金 横員の給与より控除した源泉所得税である。 有識者などへ支払った謝金から控除した源泉所得税である。 (固定負債) 職員退職給付引当金 三菱UFJ銀行神保町支店 職員4名に対する退職金の支払いに備えたものである。		前受金	正会員5社		6,6
預り金 源泉所得税 住民税 所得税謝金 福貴の給与より控除したぼ泉所得税である。 市得税謝金 有識者などへ支払った謝金から控除した源泉所得税である。 (固定負債) 職員退職給付引当金 三菱UFJ銀行神保町支店 職員4名に対する退職金の支払いに備えたものである。		  未払消費税等	   麹町税務署	  公益目的事業及び相互扶助等事業、管理目的の収益に係わる消費税である。	741,0
渡泉所得税 住民税 所得税謝金 で					180,1
住民税 職員の給与より控除した住民税である。 有識者などへ支払った謝金から控除した源泉所得税である。 有識者などへ支払った謝金から控除した源泉所得税である。 に					100,1 $105,9$
所得税謝金       有識者などへ支払った謝金から控除した源泉所得税である。         流動負債合計       (固定負債)       職員退職給付引当金       三菱UFJ銀行神保町支店       職員4名に対する退職金の支払いに備えたものである。         固定負債合計        本税					,
流動負債合計					53,8
(固定負債) 職員退職給付引当金 三菱UFJ銀行神保町支店 職員4名に対する退職金の支払いに備えたものである。  固定負債合計	≈私点 b⇒ Λ ⇒ I				20,0
職員退職給付引当金 三菱UFJ銀行神保町支店 職員4名に対する退職金の支払いに備えたものである。  固定負債合計					9,405,
固定負債合計		IBM ロ /ロ IBM 64 / L コ L / L 4		II 日4月16社上7月II A 6十月11日 15月11日 15月1日 15月1	
		職員退職給付引当金	二麦UFJ銀行神保町支店	職員4名に対する退職金の支払いに備えたものである。	6,000,4
負債合計 1					6,000,4
正味財産 5					15,405,9